

# 第73回全日本女子ホッケー選手権大会 第3日

開催日時 11月25日(日) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

## < A組 >

コカ・コーラウエスト レッドスパークス	4	$\begin{pmatrix} 2-1 \\ 2-0 \end{pmatrix}$	1	天理大学
勝点 9 3勝			勝点 1 1分2敗	
	5	PC	3	
	16	シュート	3	

得点	コカ → 10・37分金、35分爲藤、49分小野 天理 → 33分笠原
戦評	今年3冠を狙うコカは開始早々から優勢に試合を展開する。10分、MF小野の正確なセンタリングをFW金が冷静に合わしゴール右下に決め先制する。コカのペースで試合が進む中、天理は12分にPCを獲得する。しかし、コカGK吉川のセービングに阻まれ得点できない。その後もコカのペースで試合が進み猛攻を仕掛けるが、天理もDF陣が懸命に守り得点を与えない。そして、天理は33分にまたもPCを獲得。FB山中のパスをFW笠原が鋭く反応しタッチシュートをゴール左上に決め同点に追いつく。すぐさま反撃するコカは前半終了間際に、FB大田のパスをFW爲藤がタッチシュートで決め逆転。コカが2-1のリードで前半を折り返す。 コカは後半も猛攻を緩めず、37分PCを獲得する。FB李のシュートのリバウンドを、金がヒットシュートでゴール左下に決め3-1とし勝利を手探り寄せる。その後もコカは持ち前のパス回しで試合を組み立て天理につけている隙を与えない。49分にはMF小野がPCで強烈なヒットシュートを決め4-1と突き放す。反撃したい天理はカウンター攻撃を仕掛けるがコカのDF陣に阻まれる。このまま試合は終了し4-1でコカが勝利しA組1位となり準決勝に進出した。

テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	相馬知恵子
ジャッジ	松下正寿、西松孝治		我妻順子

## < A組 >

東海学院大学	3	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$	0	グラクソ・スミスクリン
勝点 4 1勝1分1敗			勝点 3 1勝2敗	
	6	PC	3	
	12	シュート	3	

得点	東海 → 51分小沢菜、58分市山、67分永井
戦評	東海のセンターパスにより試合が開始された。東海は試合開始早々からPCのチャンスを得る。しかし、パスが大きくそれ得点できない。その後は、終始落ち着いたペースで試合が進み両者とも得点の機会をうかがう。互いにチャンスを掴めないまま前半を終了し0-0で折り返した。 後半先にチャンスを得たのはGSK。39分にPCを獲得するが、東海GK清水香のファインセーブにより得点することが出来ない。負けじと東海も43分にPCを獲得。しかし、シュートを大きくはずしてしまい両者とも我慢の時間帯が続く。しかし、51分に試合が動く。東海のFW浅海がサークル内にいたFW小沢菜にセンタリングを入れる。小沢菜は倒れ込みながらもタッチシュートをゴール右下に決め待望の先制点を手に入れた。勢いによる東海は58分のPCに、DF河津の狙いすましたパスをFW市山がタッチシュートで決め追加点、2-0とする。反撃するGSKは柴田を中心に東海ゴールを目指すが得点できない。一方、東海は67分にもPCで得点し3-0とする。このまま試合は終了し3-0で東海が勝利した。

テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	山田恵美
ジャッジ	我妻活美、西松孝治		壽山由樹

< B組 >

ソニーHC BRAVIA Ladies 勝点 9 3勝	3	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 1-1 \end{pmatrix}$	1	山梨学院大学 勝点 4 1勝1分1敗
	5	PC	1	
	13	シュート	1	

得点	ソニー → 3分中島、9分村上、49分山本 山梨 → 59分藤井
戦評	<p>大会7連覇をめざすソニーは試合開始早々からペースを握った。3分にPCを獲得するとFB及川のヒットシュートのリバウンドをFW中島が押し込み先制。波にのるソニーは、9分にまたもPCを獲得。FB村上がフリックシュートを豪快に右下に決め2-0とする。その後は、両者白熱した攻防を繰り広げ相手ゴールを脅かすが得点には至らない。前半は、このまま終了し2-0で折り返す。</p> <p>後半もソニーのペースで試合が展開される。MF中川を中心に素早いパス回しで攻め、山梨にプレッシャーをかけていく。その中ソニーは49分にPCを獲得。FB林の狙い澄ましたパスをMF山本が技ありのタッチシュートで決め3-0と山梨を突き放す。準決勝に進むために反撃する山梨は59分にPCを獲得。MF松瀬がFW藤井にパス。藤井がダイレクトプッシュシュートをゴール右下に決め3-1とソニーを追いかける。その後もソニーのゴールに迫るが得点を奪えない。結局このまま試合は終了し、ソニーが3-1で勝利しA組1位で準決勝進出を果たした。</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世	アンパイア	根岸郁美
ジャッジ	我妻活美、西上英雄		安岡裕美子

< B組 >

南都銀行 勝点 4 1勝1分1敗	4	$\begin{pmatrix} 1-1 \\ 3-0 \end{pmatrix}$	1	立命館大学 勝点 0 3敗
	8	PC	2	
	11	シュート	3	

得点	南都 → 6分植田、56分眞鍋、60・67分佐々木 立命 → 8分一谷
戦評	<p>準決勝に進むために大差で勝ち、同順位が予想される山梨にプレッシャーをかけたい南都は、立ち上がりから速いパス回しで攻撃を展開し立命のゴールを脅かす。6分、サークル内でパスを受けたFW大塚がゴール前に構えていたFW植田に正確なつなぐ、植田は冷静にシュートを決め先制。しかし、すぐさま立命は反撃。8分、FW坂井が23mからドリブルで南都DFを抜き去りサークル内のFW一谷にパス。一谷は強烈なヒットシュートをゴール左下に決め同点に追いつく。その後も互いに激しい攻防を繰り広げる南都は、28・30分とPCを獲得するが、立命のDFに阻まれ得点することが出来ない。白熱した戦いは1-1の同点で前半を折り返す。</p> <p>南都は、開始直後にPCを獲得するが決めきれない。イヤなムードが南都を覆うが、56分にPCを奪うと主将FB眞鍋が豪快なヒットシュートをゴール右下に決め2-1とする。波に乗った南都はFW植田がエンドラインをドリブルでえぐり、ゴール前で構えていたMF佐々木にパス。佐々木は倒れ込みながらシュートを決め3-1と突き放す。反撃したい立命はカウンター攻撃をしかけるがFB小櫻を中心とした守りを崩せない。南都は試合終了間際にも1点を加え、そのまま試合は終了。4-1で南都が勝利し、準決勝に進出した。</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世	アンパイア	森本道理
ジャッジ	松下正寿、西上英雄		高橋英行